

江戸町周辺の変遷（明治～昭和）



明治44年に建設された県庁舎



長崎港から見た県庁舎

◆県庁舎の変遷

- 1874年(明治7年)7月
西役所跡に県庁舎開庁(洋風木造2階建て)
- 1874年8月20日
暴風のため新庁舎が倒壊
勝山小学校の一部に仮庁舎を設置
- 1876年(明治9年)
新庁舎の再建に着手して同年12月完成
- 1910年(明治43年)
県会議事院が完成
- 1911年(明治44年)
県庁舎が完成
- 1945年(昭和20年)8月9日
原爆のため県庁舎と県会議事院が焼失
仮事務所を県立高等学校(旧長崎東高校)と勝山
国民学校等に分散して設置



原爆で焼失した県庁舎(昭和20年8月)

江戸町周辺の変遷（現在の県庁舎）

①



② 本館（昭和28年建設）

②



第三別館（大正12年建設）

⑤



公用車車庫（昭和55年建設）

③



第二別館（昭和34年建設）



④




第一別館（昭和42年建設）

県庁舎跡地活用の検討対象



敷地面積等	
県庁舎	約 13,000㎡
本館・第一別館	約 11,300㎡
第二別館	約 600㎡
第三別館	約 1,100㎡
警察本部	約 2,000㎡
江戸町公園	約 1,800㎡
.....	
用途地域	商業地域
建ぺい率	80%
容積率	600%

 出島復元長期計画

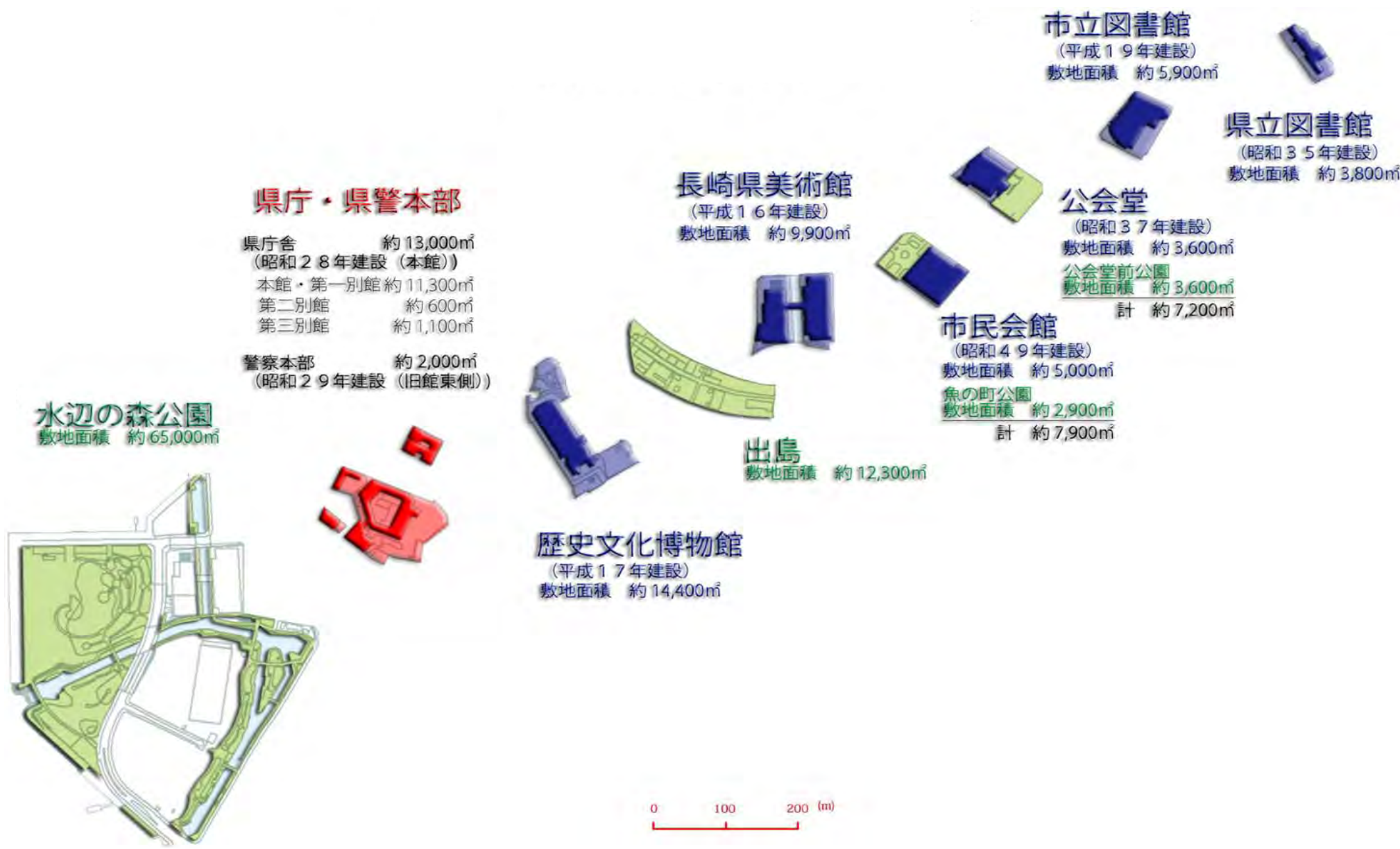
0 100 200 (m)

※江戸町公園の取り扱いについて

県庁舎跡地の活用の検討にあたっては、同等の機能を確保することを前提として、江戸町公園を含め一体的に検討することも可能。

県庁舎整備と他の公共施設との面積の比較

～ 特別に広い土地ではない～



都市構造の中での位置

～ 都市構造上、町の中心となっている場所 ～



幕末の名残り

①

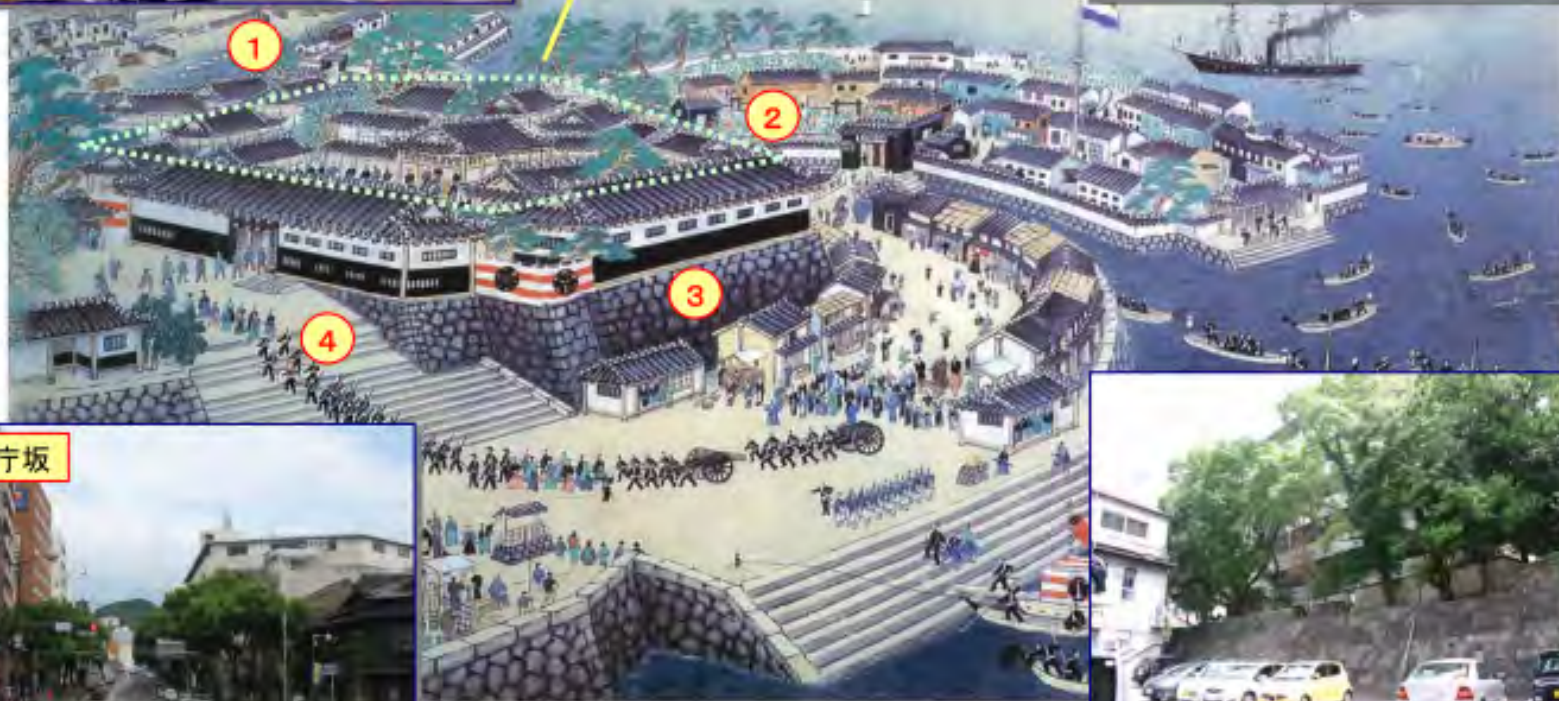


②



西役所から出島を監視

西役所から出島を監視



④



県庁坂

③



1858年頃の「海軍伝習所」と「出島」

出島周辺のまちづくりとの調和

奉行所としての歴史的輪郭を県庁舎が遮っている



出島周辺のまちづくりとの調和

西役所として出島を見下ろしていた風景を県庁舎が遮っている



公用車車庫(第一車庫)



第一別館



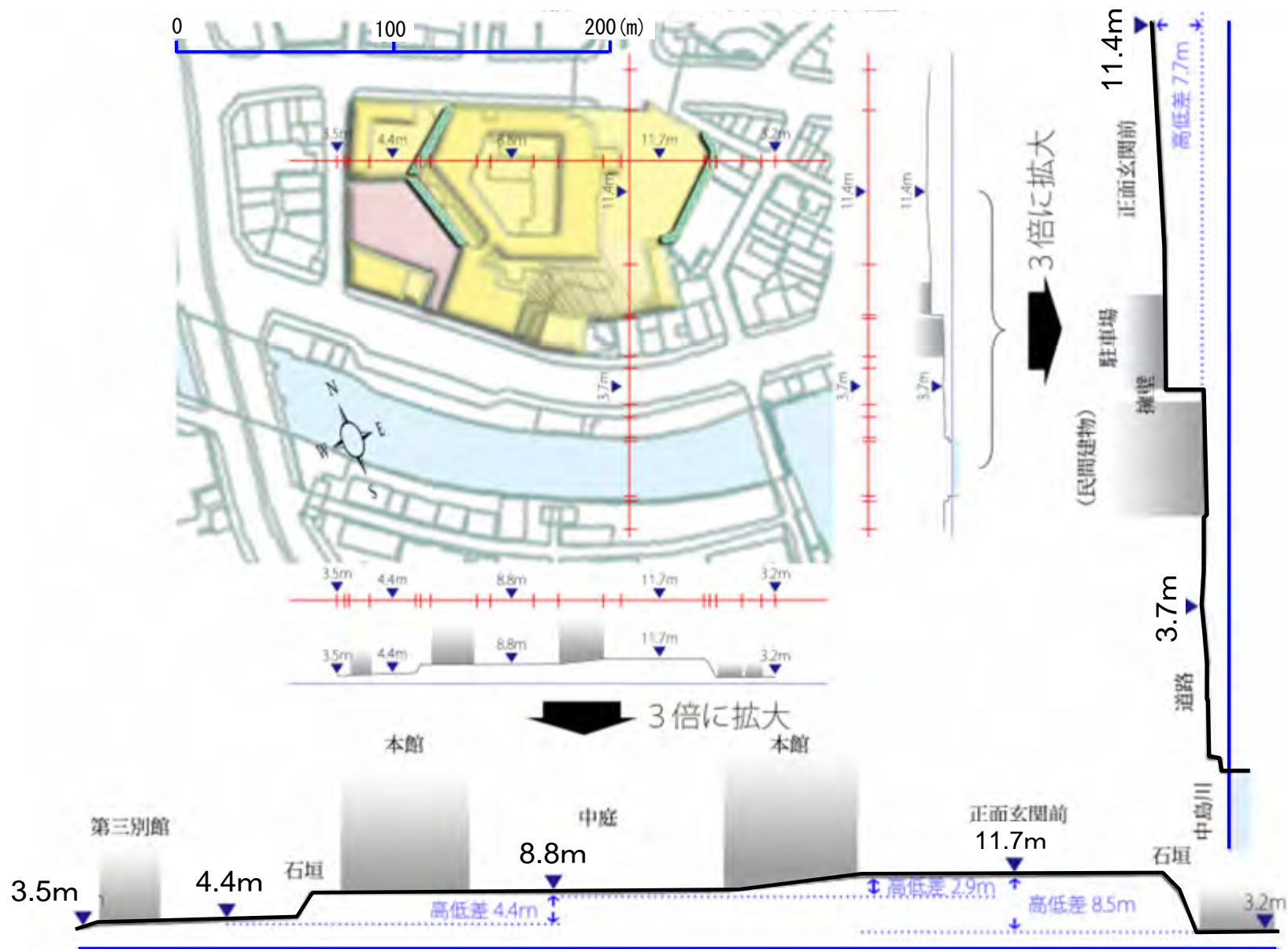
第一別館と第二別館車庫



県庁舎の向こうには19世紀初頭の「出島」の姿がある



地形（断面図） ～敷地内で7m以上の高低差～



埋蔵文化財調査等の結果

提言の基本的な方向

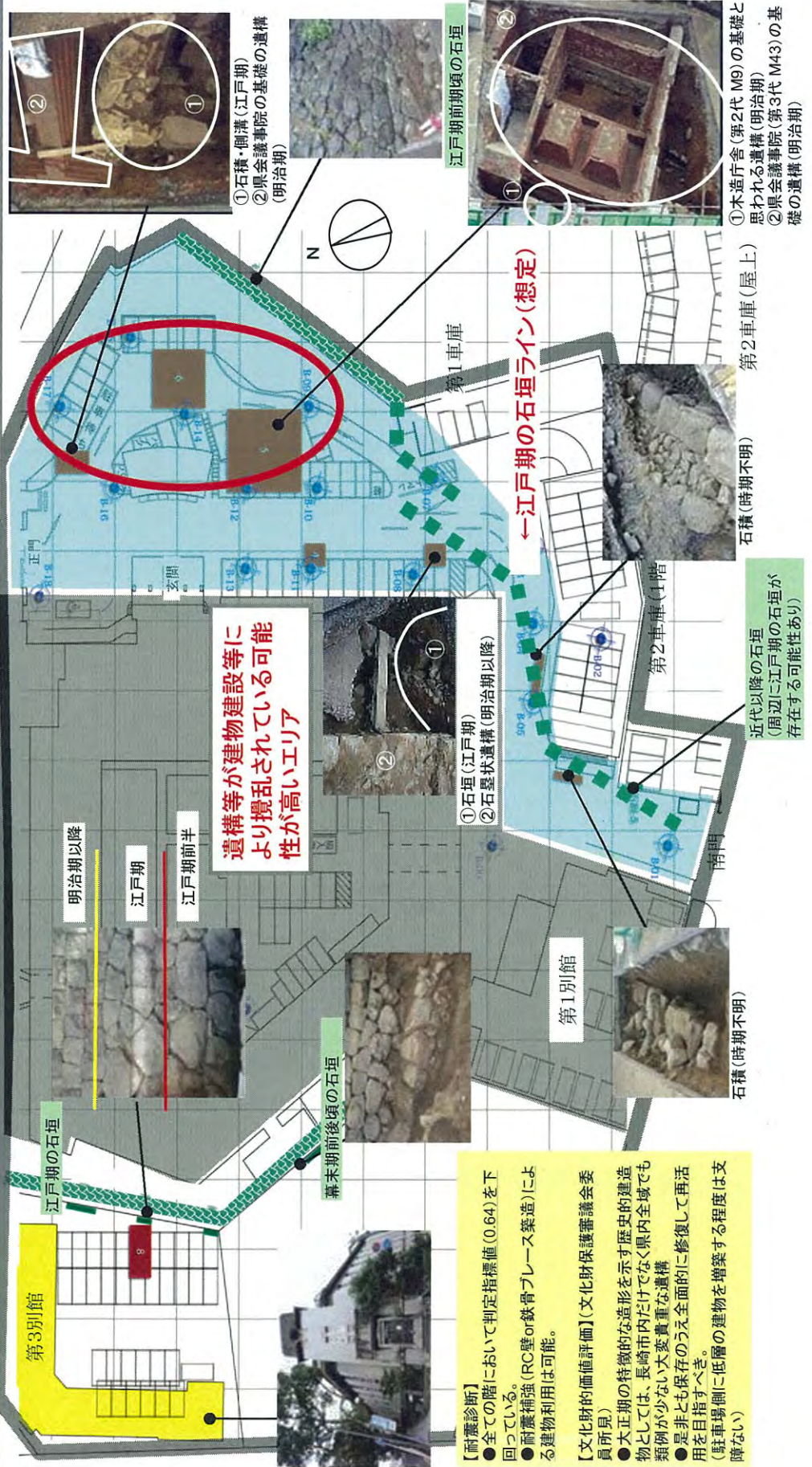
- 県民共有の財産として誰もが利用できることを前提に
- ① 集い、交流を通じて新しい魅力や価値を創造する場
 - ② 歴史性への配慮
 - ③ 都市核としての象徴性
 - ④ 周辺との調和と波及効果

提言の留意事項

- 埋蔵文化財については本格的な発掘調査を実施
○歴史ある石垣は残す方向で検討
○第三別館は保存・活用も視野に入れた調査を実施
○公園機能の確保を前提とした江戸町公園との一体的な活用も検討

埋蔵文化財等調査結果 (H22.11~H23.3)

- 開発の際に本格的な発掘調査が必要となる範囲を推定
江戸時代の石垣は残す方向で検討
貴重な遺構であり、保存活用する際は、耐震補強が必要
江戸期の石積、明治期の庁舎遺構の取扱いについて検討が必要



これまでの検討で示された用途・機能について

歴史に重点を置いたアイデア		出典			
No.	アイデア	①	②	③	④
1	歴史系の資料館・博物館	○	○	○	○
2	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点		○	○	
3	長崎奉行所西役所(復元)	○	○	○	○
4	歴史公園、史跡公園	○	○	○	○
5	街並み再現(江戸期・明治期)	○	○	○	
6	岬の教会(復元)	○	○		○
7	石垣復元	○	○		○
8	第三別館復元	○			
9	歴史をバーチャル復元(西役所等)				○
10	埋蔵文化財展示施設		○		
11	郷土資料館		○		
12	長崎県の代表的な歴史人物の群像	○			
13	伝習所(人材育成施設)				○

観光に重点を置いたアイデア		出典			
No.	アイデア	①	②	③	④
14	県の観光・歴史文化の情報拠点	○	○	○	○
15	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	○		○	
16	伝統芸能資料館、伝統工芸館	○	○		○
17	体験型観光集客施設		○		○
18	世界遺産館	○	○	○	
19	ランドマークタワー、シンボルタワー		○	○	○
20	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	○	○	○	○
21	展望レストラン		○		○
22	くunch広場、出し物展示場	○	○	○	○
23	イベントスペース	○	○	○	○
24	アンテナショップ	○		○	
25	物産・特産品センター、土産店	○	○		○
26	朝市、夜市			○	○
27	B級グルメ飲食館、長崎特産名店街			○	○
28	娯楽施設、アミューズメント施設、遊園地、テーマパーク	○	○	○	○
29	水族館			○	
30	ホテル、高級ホテル		○	○	○
31	離島の魅力を伝える施設			○	
32	コトハジメ館			○	
33	観光客駐車場、観光客地下駐車場	○	○	○	

交流に重点を置いたアイデア		出典			
No.	アイデア	①	②	③	④
34	公園	○	○	○	○
35	憩いの広場	○	○	○	
36	オープンスペース	○			
37	空中庭園			○	
38	コンサートホール	○	○	○	○
39	劇場	○	○	○	
40	オペラハウス	○		○	○
41	都市型シアター(芝居小屋風の外観)	○			
42	コンベンション施設	○	○	○	○
43	多目的ホール	○	○	○	○
44	会議室	○	○		
45	国際交流センター、国際文化会館、国内外の交歓・交流施設	○	○		
46	県民交流センター	○	○	○	
47	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)		○		
48	集会センター(身障者、介護者用)		○		
49	外国人居留施設		○		
50	キリシタンの教育施設(コレジョ・セミナリヨ)		○		

その他のアイデア		出典			
No.	アイデア	①	②	③	④
51	飲食店、カフェ、レストラン	○			○
52	ショッピングセンター、モール	○	○		○
53	道の駅		○		
54	長崎市役所	○	○	○	○
55	種地、市役所仮移転場所		○		
56	行政窓口(振興局、市町の長崎事務所)	○	○		
57	交番		○		
58	図書館		○	○	○
59	公文書館、県政資料館	○	○		
60	防災センター、防災広場・緊急避難所		○		○
61	大学・学校	○	○	○	○
62	研究施設	○	○	○	
63	国際的な機関			○	
64	高齢者・子供関係施設		○	○	
65	病院		○		○
66	企業誘致		○	○	
67	インキュベーション(起業支援)施設		○	○	
68	美術と文化の発信拠点				○
69	科学館		○		
70	平和聖堂(ランドマーク)		○		
71	体育館				○
72	人材育成施設		○		
73	公益法人センター		○		
74	オフィスビル		○		
75	バスセンター、バスターミナル		○	○	○
76	新幹線と在来線の駅		○		
77	駐車場、地下駐車場	○	○	○	○
78	地下道	○		○	
79	道路(通り抜け)		○		
80	売却		○		

抽象的なアイデア	
No.	アイデア
81	歴史性を感じられる場所
82	歴史的背景を活用
83	歴史を活かす出島と一体の施設
84	国際観光の推進拠点(世界への魅力発信等)
85	市民がよその人を案内したくなる場所
86	観光客に来てもらえる施設
87	都市のシンボル
88	長崎らしい建物(活水のような)
89	長崎にしかないもの
90	収益性・集客性を備えた施設
91	地元産業の向上、雇用促進に繋がる生産性の高いもの
92	明確なコンセプトがあり質の高い空間
93	市民が寛ぎに行きたくなる場所
94	地形、ロケーションを活かした施設
95	単体・巨大な施設ではなく、敷地全体が記念公園となるように構成
96	出島側の道路沿いは出島完全復元に備え余地を確保
97	建物は北東に寄せ、出島方向・西方向はオープンスペースに
98	出島方向の目障りな建物は交渉して撤去
99	北・東の方向は喬木を植えて遮断し雰囲気を高める
100	出島方面への街路整備(自動車交通を極力排除)
101	斜面を活用
102	市民と観光客の両方を対象に
103	一過性ではなく、常時人が集まるもの
104	回遊性を高め、まちの活性化につながる施設
105	人が集まって面白く感じられる場所
106	景観・動線を重視
107	長崎から最新技術を発信
108	アジア進出拠点
109	周辺住民に納得してもらえるもの
110	あれもこれもではなく1つの方がいい
111	残すべきところは残して活用

※ アイデア等の出典

- ① H21年度懇話会委員の活用案
- ② H21年度アイデア募集結果
- ③ H23年度ニーズ調査のヒアリング調査結果
- ④ H23年度アイデア・ワークショップ結果

平成21年度跡地活用懇話会委員から提出された活用案

委員	内 容
A委員	江戸期の江戸町商店街通り(木造で統一)の再現
	県全体の特産品のアンテナショップ
	芝居小屋風の外観を持つ都市型シアター
B委員	和華蘭伝統芸能館
	国際交流センター
	おくんちを見学できる踊り場
C委員	長崎奉行所の復元(中は博物館)
	岬の教会の復元
	出島からの回遊性を持たせた公園
	貸切バスも駐車できる地下駐車場
D委員	発掘現場を見学できる野外博物館
	岬の教会と西奉行所を核とする施設(中は展示・展望、外はガーデン・イベント広場)
	長崎県の代表的な歴史人物の群像
	長崎の中世～未来をミニチュアで造作した公園
	港まちの展望と解説で巡る展望回廊
	ながさき人物往来と交流の館(歴史人物を集約)
	斜面地を活用した回廊型の景観に配慮した施設
	江戸町部分の歴史的街並みの創出
	ミニ展示館
	飲食店
	お土産店
芝居、イベント等の施設	
E委員	歴史性に配慮
	集い、交流の場
	江戸町公園の機能は確保
	歴史、史跡公園の中に多目的ホールを設置
F委員	世界遺産資料館(3D技術を駆使)
	文化研修ホール(長崎県の文化・文明の展示、舞台披露)
	公園(西洋式ガーデニング)
	地下の利用(地下道で出島に繋げ一体感を出す)
G委員	江戸・明治期の華やかな街並み(商業施設)
	オペラハウス(500～1,000人規模)
H委員	日本近代化歴史博物館
I委員	長崎市役所(歴史性を踏まえた特色ある建物)
J委員	日本の近代化をテーマにした施設
	来訪者がまず最初に訪問し、そこから回遊するような建物
	市民が日常的に訪れるための行政窓口、飲食施設、緑地
K委員	長崎の都市の方向性を代表する施設
	明確なコンセプトがあり質の高い空間
	地形、ロケーションを活かすことができる施設
	日本の歴史研究のメッカとなるような国家的施設(大学・研究機関等)
	市民に開かれ市民と協働する施設
収益性・集客性を備えた施設	

平成21年度跡地活用懇話会委員から提出された活用案

委員	内 容
L委員	よくデザインされた記念広場(コンペ等で我が国最高のものを実現)
	800~1,000人規模の中規模・上質なコンサートホール
	展示場・イベント会場として使える小規模ホール
	講演会・芝居小屋として使う小規模ホール
	会議室
	カフェ・レストラン
	出島側の展望ロビー
	単体・巨大な施設ではなく、敷地全体が記念公園となるように構成
	会議室、県政資料館、公文書館(第三別館)
	出島側の道路沿いは出島完全復元に備え余地を確保
M委員	人々が自由に安心して交流できる賑わい広場
	歴史、平和、地球環境に関わる記念館
	文化、芸術、交流の多目的ホール
	大型アミューズメント施設
	大型購買施設
	駐車場ビル
N委員	まずここに足を運び、長崎に関する十分な知識を吸収できる場所
	西役所の復元
	歴史公園
	お旅所を設置できるお祭り公園
	子供のための長崎の歴史を学ぶミュージアム
	観光客が長崎の基礎知識を三次元CGで学べる場
O委員	市民が寛ぎに行きたくなる場所
	市民がよその人を案内したくなる場所
	観光客が長崎に来たらまずここに来る場所
	建物は北東に寄せ、出島方向・西方向はオープンスペースに
	イベント広場
	出島方向の目障りな建物は交渉して撤去
	北・東の方向は喬木を植えて遮断し雰囲気をも高める
	駐車場(県庁跡地の地下か県警本部)
	日本近代文明文化黎明館(文明文化の伝播、長崎ゆかりの人物等が学べる)
	600~800人規模の質の高い会議場・迎賓館
話題となるレストラン	
P委員	県民、市民が日常的に利用できる施設
	回遊性を高め、まちの活性化につながる施設
Q委員	広場的空間
	大面積の非建ぺい地を確保
	出島方面への街路整備(自動車交通を極力排除)
	歴史的建造物・土木構造物の保存(第三別館と石垣)
	地形の保全(改変せず今ある高低差を活かした整備)

※この資料は、平成21年度に跡地活用懇話会から提出された「提言書」のP5~P28を要約したものです。

平成21年度跡地活用アイデア募集結果概要

【実施期間】 平成21年7月22日～8月28日

【応募数】 94名(198件)

【応募内容】 以下のとおり

■歴史に重点をおいたアイデア

史跡復元（西役所、石垣、教会）	15件
歴史博物館・資料館（埋蔵文化財展示施設、郷土資料館）	10件
歴史・史跡公園（歴史公園、史跡公園、奉行所遊園地）	6件
歴史研究センター	1件
計	32件

■観光に重点をおいたアイデア

展望施設（展望所、展望タワー、展望レストラン）	14件
観光施設（体験型施設、テーマパーク、公営カジノ等娯楽施設）	10件
付帯駐車場（観光バス駐車場、高層立体駐車場、地下駐車場）	10件
総合案内所（観光総合情報センター、国際観光案内所）	7件
くunchi広場・イベント広場	7件
物産館	4件
伝統工芸館・資料館（まつり資料館、伝統芸能資料館）	3件
宿泊施設（ホテル等）	3件
世界遺産館	1件
計	59件

■交流に重点をおいたアイデア

公園・多機能広場（緑地、イベント会場、屋上憩いの広場、平和の森公園）	26件
交流センター（県民交流センター、青少年センター、身障者・介護者の集会センター）	12件
多目的ホール等（劇場、コンベンションホール、国際会議場）	7件
計	45件

■都市機能に重点をおいたアイデア

駐車場（地下駐車場、公営駐車場、低額の駐車場）	12件
教育・研究施設（サテライトキャンパス、科学館、インキュベーション施設）	7件
文化施設（美術館、博物館、図書館、公文書館）	6件
行政施設（市役所、県警本部、長崎振興局、市町の長崎事務所）	6件
防災センター（防災広場、災害支援施設、科学・防災総合会議所）	5件
公益法人センター・高齢者人材活用施設	3件
駅・バスセンター（新幹線と在来線の駅）	2件
道の駅	2件
商業施設（ショッピングモール、アミューズメント施設）	2件
病院	2件
道路（出島方向のT字路の解消）	2件
高齢者・身障者集合住宅	1件
オフィスビル	1件
計	51件

■その他

売却等（売却、リース）	6件
代替地・種地（市役所仮庁舎代替地、商店街仮店舗スペース、出島整備代替地、再開発種地）	5件
計	11件

合 計 198件

跡地活用ニーズ調査結果概要

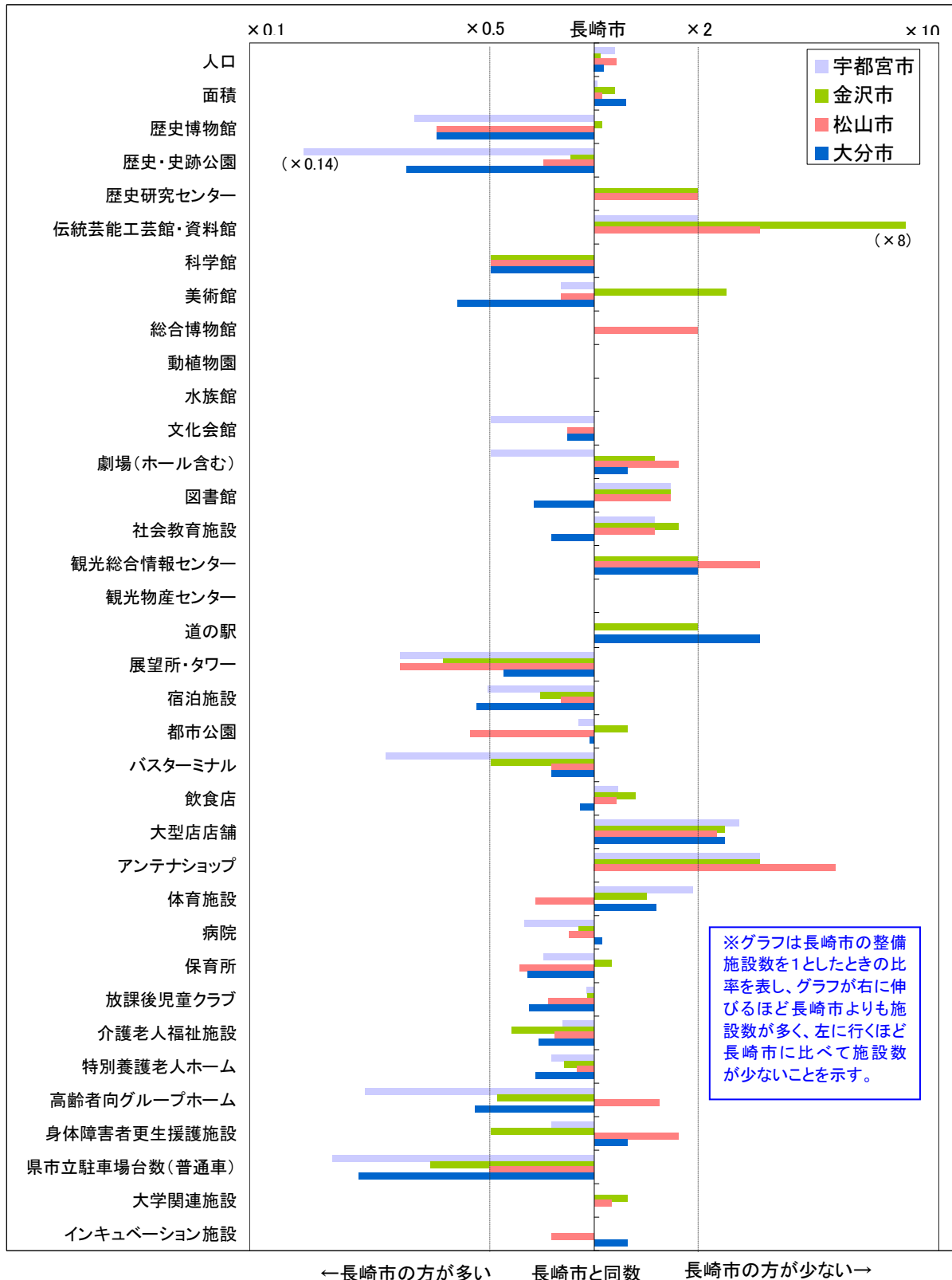
【実施期間】 平成24年1月23日～3月30日

【調査内容】 1 不足する都市機能の調査（他都市との都市機能整備状況の比較）
2 求められる都市機能の調査（民間事業者・関係団体ヒアリング）

1 不足する都市機能に係る調査

長崎市と人口・面積等が類似する他県県庁所在市4都市を対象に、これまでに頂いたアイデアや跡地活用懇話会の提言を元に抽出した以下の都市機能について整備施設数を比較。

→ 「伝統芸能工芸館・資料館」「観光総合情報センター」「大型店店舗」「アンテナショップ」等が他都市に比べて不足。



跡地活用ニーズ調査結果概要

2 求められる都市機能の調査（ヒアリング調査）

長崎市の民間事業者20社、商工・観光等の関係団体20団体から、県庁舎跡地に求められる都市機能についてヒアリング調査を実施。

→「歴史・文化に関するもの」、「観光拠点」、「公園」、「展望機能」、「駐車場」、「シンボルとなるもの」等の意見が多かった。

区分	分野	ヒアリング結果（県庁舎跡地に求められる都市機能）
民間	観光	長崎のシンボルとなるもの、タワー・展望台、国際的な機関、歴史文化を集約した施設、くんちをアピールする場、コンベンション、緑のある空間 など
	宿泊	シンボリックな建物、海や港をテーマにした観光文化施設、食の発信基地、展望タワー、歌舞伎会場、キリスト教・平和に関する国際機関、コンベンション、テーマパーク、ホテル など
	土産品店等	歴史文化の体験・学習施設、観光の総合窓口となる施設、江戸時代を再現する新しい観光スポット、イベント広場、出島が正しい形で見える場所、多世代コミュニケーション施設、コンベンション、市役所 など
	マスコミ	歴史公園、展望タワー、劇場・オペラハウス、出島の輪郭が見える場所、くんちスタジアム など
	広告	街の顔として象徴的な建物、市民の憩いの場、タワー、B級グルメ飲食館、インキュベーター機能、市役所、駐車場 など
	金融	県内の歴史文化を集約させた観光拠点、広場、展望所、観光バス駐車場 など
	運輸・交通	交通ターミナル機能、研究機関、観光インフォメーション機能、展望タワー、歴史を感じられる場所、出島を含めて街並みを再現、県内自治体のアンテナショップ、高級ホテル、コンサートホール、大学 など
関係団体	商工	長崎奉行所復元、駐車場、コンベンション、イベント広場、観光の出入口となる拠点、アンテナショップ、コトハジメ館、離島の魅力を伝える施設、市役所機能 など
	商店街自治会	市役所、図書館、バスターミナル、子供と一緒に遊べる場 など
	観光	周辺も含めた古い街並みの復元、公園、観光バス駐車場、トレードマークになるもの など
	歴史・文化	歴史文化の研究や情報収集・発信拠点、図書館 など
	青年・婦人	長崎観光の拠点、離島を含めた県内歴史文化の情報発信、観光バス駐車場、おくんち広場、コンベンション、県産品販売施設、長崎らしい建物、ホテル など
	まちづくり	長崎観光の情報拠点、国際観光の推進拠点、公園、世界遺産センター、歴史性を活かした施設、県産品販売施設（朝市）、図書館、多目的ホール、市役所 など

県庁舎跡地活用アイデア・ワークショップ結果概要

【開催日】平成24年3月10日(土)、17日(土)

【参加者】計45名

【提案内容】10グループから以下の提案を頂いた。

テーマ	コンセプト・目的など	具体案
1 「ながさき今昔 360度 パノラマView」	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客も長崎県民も学べて楽しめる施設を設置 ・昔の長崎をリアルに体験出来るゾーンを整備 	複合施設、駐車場、音楽専用ホール、県立図書館、展望施設、緊急避難場所・ヘリポート、(第3別館:歴史体感施設)
2 「長崎の発信基地を作ろう!! プロジェクト」	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な交流人口を増やす ・長崎のシンボル(どこからでもわかる) 	バスターミナル、地下駐車場、大学・研究機関の研修学習発表の場、埋蔵文化財他歴史的資料の展示、県内物産の展示販売等、(県警:)アミューズメント施設
3 「西役所の復元プロジェクト」 “文化・スポーツの拠点”	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口(観光客等)の増加 ・周辺地域へ経済波及が有る場所にする 	西役所復元、県立図書館、多目的ホール、体育館、観光案内所、(日生ビル:県警本部と交換して駐車場)
4 「歴史と食の融合プロジェクト」	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎の歴史、おいしいもの、宝の海を体感できる新しい技術(IT技術)でプロデュース 	バーチャル復元(西役所、海軍伝習所、出島)、食事体験ゾーン、県立図書館
5 長崎のまちとしてのシンボルスポット	<ul style="list-style-type: none"> ・国際観光都市長崎の「歴史・文化」の発信基地となるスポットを作る 	西役所復元、展望施設、伝統芸能資料館、イベントスペース、岬の教会(シンボル)、(県警:)音楽ホール、駐車場
6 長崎タワー複合施設プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる場所 ・長崎が一望できる場所 ・交通の要所(バスターミナルの設置) 	複合施設(文化的施設)、長崎タワー(ランドマーク)、地下バスターミナル、コンサートホール、展望施設・レストラン
7 語学と医学の専門性の高い学校をつくらう	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一度、長崎を世界の窓口にするため、歴史を生かし、グローバルに語学・医学が学べる施設をつくる 	語学・医学学校、HTBとの連携によるアジア地域進出拠点づくり
8 長崎県立石だたみの丘公園	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客と市民の日本庭園 	回遊式林泉庭園、石畳の歩道、四季の花木、パノラマ展望所、茶室、和風カフェ、あづま屋
9 観光客誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県内の活性化 ・長崎の歴史・おくんち・食のアピール 	観光インフラ施設、大型駐車場、歴史美術館、おくんち出し物展示場、和華蘭グルメ(食堂街、長崎特産名店街)、奉行所外観展望所、朝市夜市
10 長崎を観せる長崎歴史ランド	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外から人を集めること 	伝習所、娯楽施設(カジノ、タワー)、体験施設(キッズニア、伝統文化)、防災管理センター

関連する計画について

1. 長崎市中心部を取り巻く主な動き

- (1) 都市再生 …………… 33P~37P
- (2) 長崎港整備 …………… 38P
- (3) 長崎駅周辺開発 …………… 39P~40P
- (4) 新幹線 …………… 41P~42P
- (5) 県庁舎整備 …………… 43P
- (6) 上海航路 …………… 44P~46P

2. 県立図書館 …………… 47P~48P

3. 出島復元計画 …………… 49P~50P

4. コンベンション …………… 51P~55P

5. 長崎市庁舎・公会堂 …………… 56P~63P

6. 都市経営戦略会議（※）における検討状況 …… 64P

※インバウンド促進にかかるまちづくり特別委員会

都市再生

◆都市の国際競争力を強化し、我が国の経済を牽引するため、基盤施設の整備と業務機能の集積を一体的・重点的に推進する仕組み

都市再生総合整備事業 【公共公益施設の整備など】

～国土交通省の補助事業～

都市・居住環境整備重点地域の指定

H20年

都市・居住環境整備基本計画の策定

H21年度

重点エリアの整備計画の策定

H22年度～

個別の公共事業等の実施

- ①面的整備事業等【国費率1/2】
(道路、公園、下水道、駅周辺施設、
バスターミナルなど)
- ②地域生活基盤施設、高次都市施設等の
整備【国費率1/3】
(駐車場、広場、地域交流センター、
高度情報センターなど)
- ③支障となる施設の除却【国費率1/2】

都市再生緊急整備地域

【民間建築物の整備など】

～都市再生特別措置法に基づく制度～

都市再生緊急整備地域の指定

民間都市再生事業計画の認定

個別の民間開発事業等の実施

- ①民間建設投資への金融支援
(民間都市再生機構による低利貸付・
社債取得など)
- ②民間建築物への税制優遇
(所得税、法人税、登録免許税、不動
産取得税、固定資産税、都市計画税
の軽減)
- ③都市計画制度の特例
(容積率制限の緩和など)

基本計画の目標（都市づくりのグランドデザインとして県市共同で策定）

目標Ⅰ 都市の魅力の強化

- 整備方針①** 平和都市の魅力を磨き、世界に平和を発信する。
- 整備方針②** 世界遺産候補など、多様な歴史・文化資源の魅力を磨く。
- 整備方針③** 長崎の特色ある街並み景観を保全・形成する。
- 整備方針④** コンベンション機能など官民一体となった都市機能の強化と新たな需要を創出する。
- 整備方針⑤** 環境に配慮した都市・交通機能を強化する。

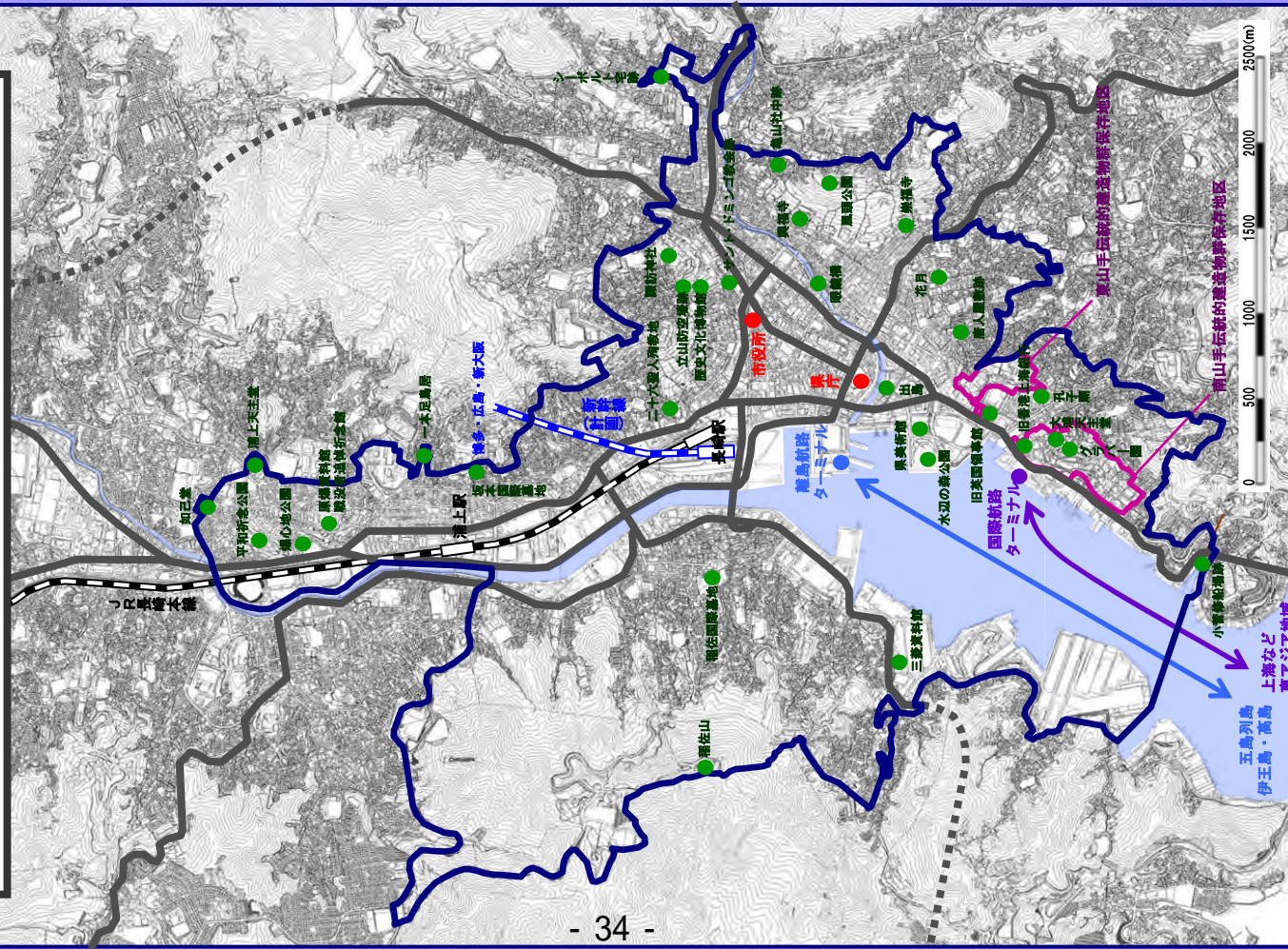
目標Ⅱ 回遊性の充実

- 整備方針⑥** 道路・公共交通・歩行者動線などのネットワーク整備を充実・強化する。
- 整備方針⑦** さるくまちとしての機能を充実・強化する。

目標Ⅲ 国際ゲートウェイ機能の再構築

- 整備方針⑧** 新幹線と国際・離島航路の接続等により広域交通機能の魅力を強化する。

重点地域：長崎市中央部・臨海地域（約1,360ha）



基本計画の整備イメージ



コンベンション機能の強化



まちなか再生の推進



まちなか景観の保全



公共交通機関のシステム充実



平和学習の推進、被爆遺構の保存



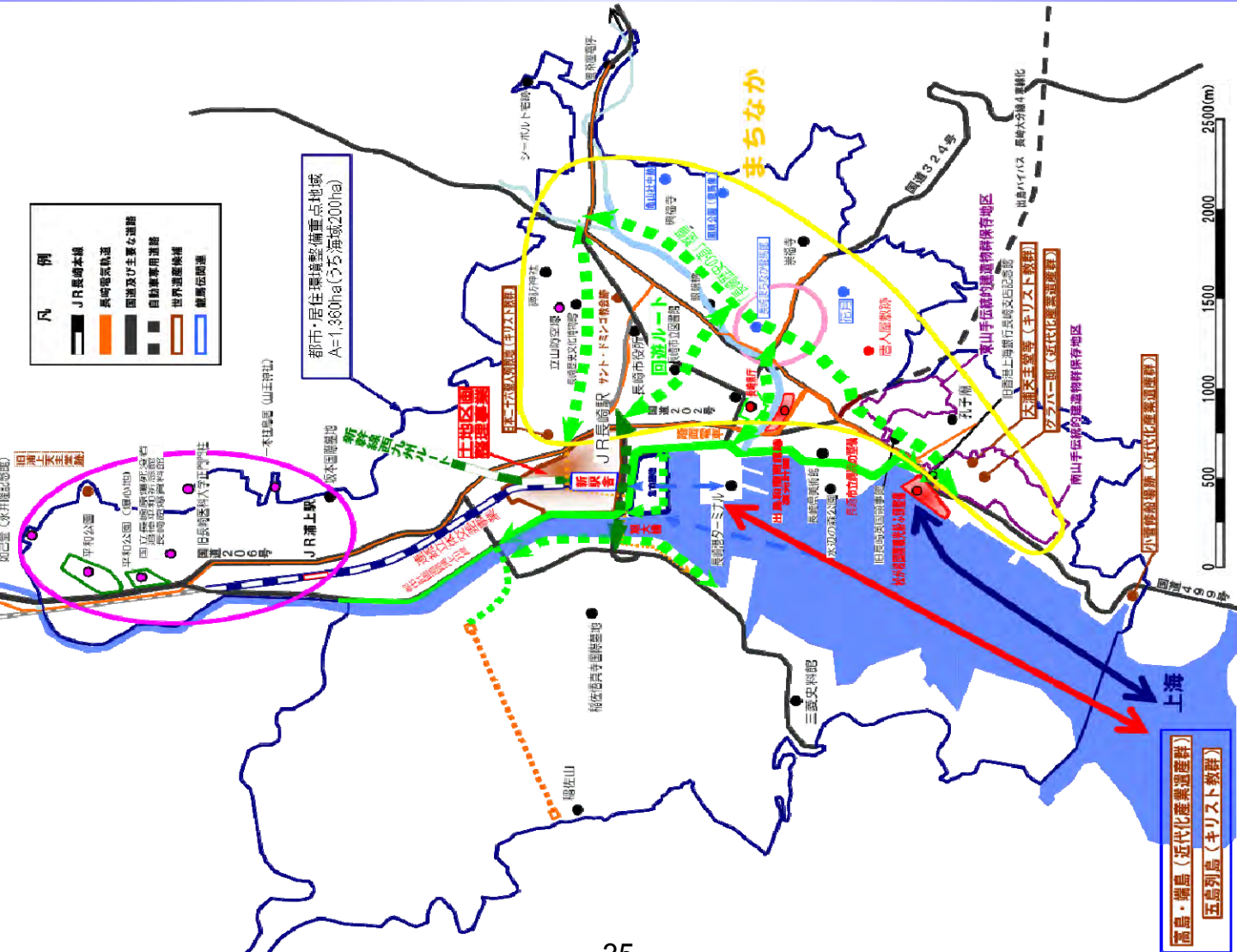
長崎駅周辺整備の推進



出島復元整備の推進



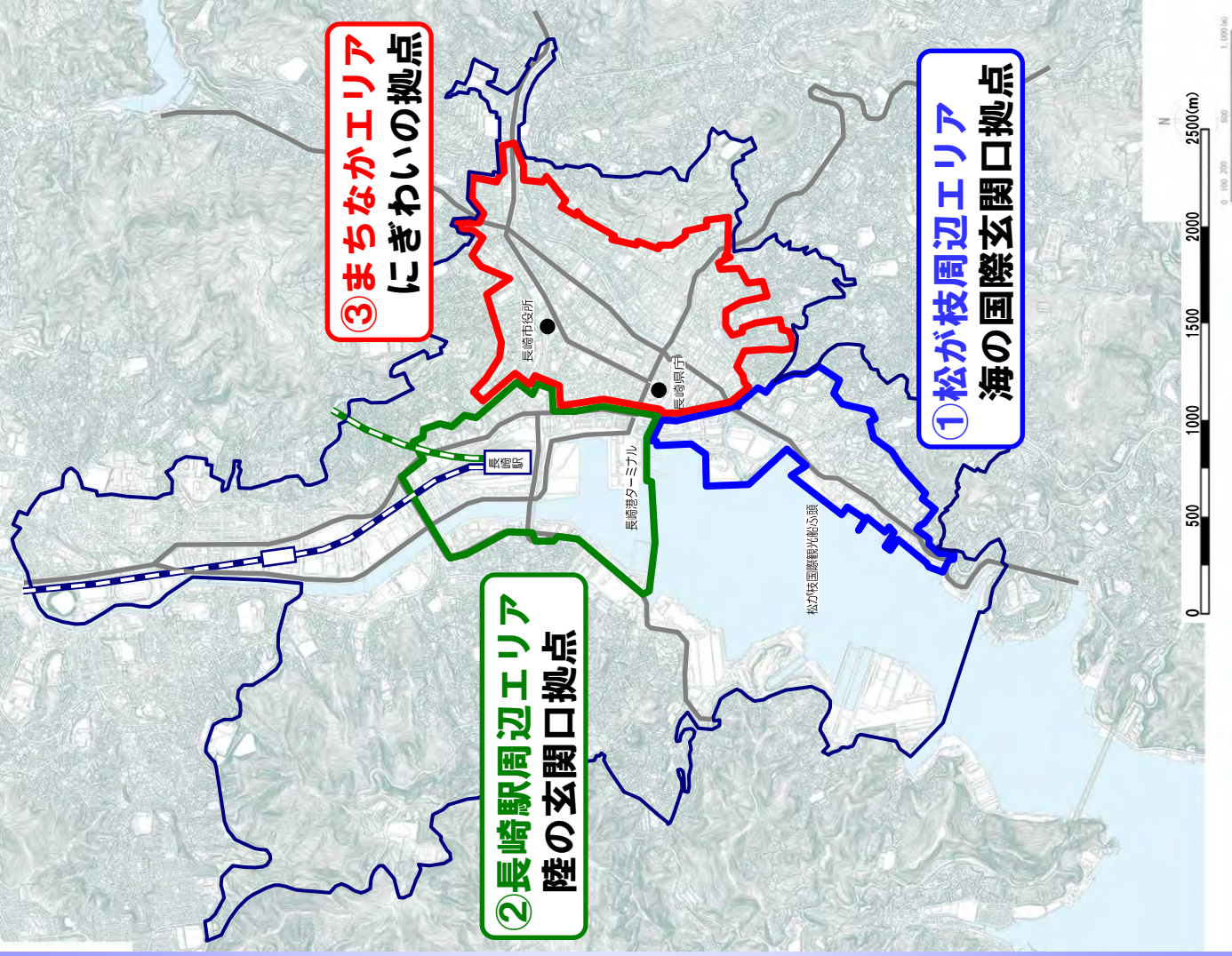
松が枝国際観光ふ頭整備



重点エリアの整備計画

◎特に重点的な整備が必要と考えられる
エリアについて、県市共同で策定。
◎整備方針、実施する施策・事業の内容、
実施主体と時期、推進体制などを取り
まとめたもの。

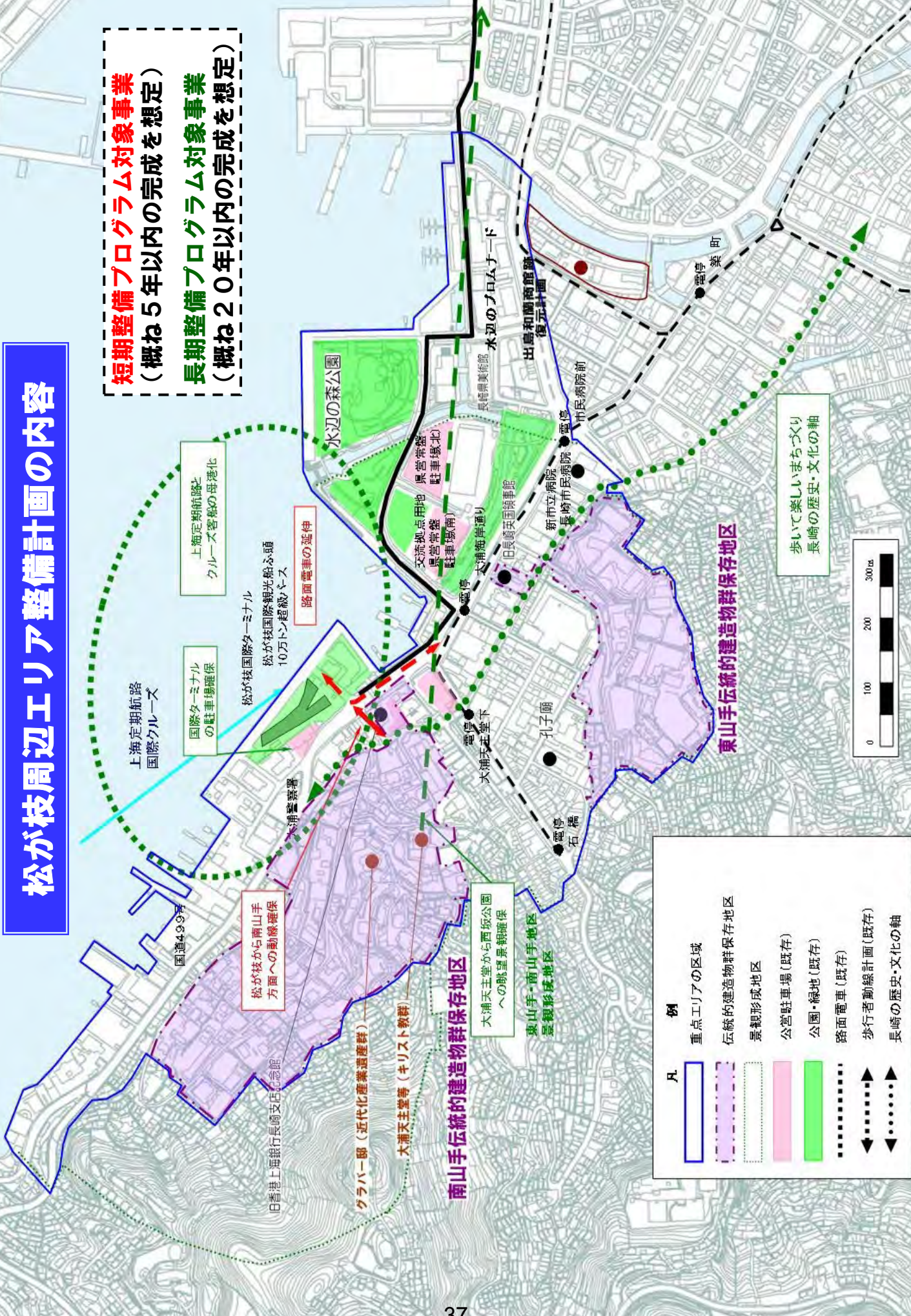
- ①松が枝周辺エリア整備計画
面積 約76ha
平成23年3月31日に策定済み
- ②長崎駅周辺エリア整備計画
面積 約118ha
現在、素案の内容を整理中
(平成24年度末に策定予定)
- ③まちなかエリア整備計画
面積 約186ha
現在、素案のたたき台を作成中
(平成25年度末に策定予定)



松が枝周辺エリア整備計画の内容

短期整備プログラム対象事業
(概ね5年以内の完成を想定)

長期整備プログラム対象事業
(概ね20年以内の完成を想定)



凡	例
[Blue outline]	重点エリアの区域
[Purple dashed outline]	伝統的建造物群保存地区
[Green dashed outline]	景観形成地区
[Pink solid fill]	公営駐車場(既存)
[Green solid fill]	公園・緑地(既存)
[Black dashed line]	路面電車(既存)
[Black solid line]	歩行者動線計画(既存)
[Black dotted line]	長崎の歴史・文化の軸

歩いて楽しいまちづくり
長崎の歴史・文化の軸

